

# 1. 管理室

当室の担当業務(表1)の平成24年度の実施内容は、以下のとおりであった。

表1 管理室の担当業務

1 業務の企画、総合調整および評価
(1) 企画運営会議の運営
(2) 機関評価・研究課題評価委員会の運営
(3) 疫学倫理審査委員会の運営
(4) 他機関との連絡調整
2 衛生および環境に関する情報収集・提供
(1) 保健衛生に関する情報提供
(2) 環境情報総合処理システムによる情報提供
(3) 花粉情報の提供
(4) 研究センター活動情報の発信
(5) 専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営
3 衛生および環境に関する教育および学習の推進
(1) 衛生・環境教室等の開催
(2) 環境情報コーナーの運営
4 衛生検査関係者および環境技術者の研修および指導
(1) 技術研修会の開催
(2) 研修生の受入れ
(3) 所内研究発表会の開催
5 調査研究
6 庶務

## 1. 1 業務の企画、総合調整および評価

(1) 企画運営会議の運営  
所長、部室長、総括研究員および所長が指名する者で構成する企画運営会議を運営し、当センターの試験研究の計画等について審議した。

(2) 研究課題評価委員会の運営  
企画運営会議と同メンバーで構成する内部評価委員会、および学識経験者、企業経営者など委員8名で構成する研究課題評価委員会(外部評価委員会)を表2のとおり運営した。  
外部評価委員会の委員名ならびに委員会の評価結果については、I 運営概要の6. 研究課題評価に記載した。なお、外部評価委員会には本庁関係課にオブザーバーとして参加協力を得た。

表2 研究課題評価委員会の運営状況

年月日	内 容
H24.7.3 7.6	・内部評価委員会の開催 (事前5題、中間15題、終了8題)
7.20	・評価結果報告
8.28	・外部評価委員会の開催 研究課題評価 (事前3題、中間7題、終了5題)
11.30	・評価結果報告

(3) 疫学倫理審査委員会の運営  
平成24年度は審査対象となる疫学研究課題がなかったため委員会を開催しなかった。  
委員名についてはI 運営概要の7. 疫学倫理審査に記載した。

(4) 他機関との連絡調整  
北陸三県環境研究所、福井大学地域環境研究センター、本庁の地域産業・技術振興課産学官連携推進室等との連絡調整の窓口を務めた。

## 1. 2 衛生および環境に関する情報収集・提供

(1) 環境情報総合処理システムによる情報提供  
環境情報のホームページ「みどりネット」の登録情報の追加更新、データベース更新等を行った。  
(「みどりネット」：<http://www.erc.pref.fukui.jp/>)

- ① ホームページ登録情報の追加更新
  - ・平成24年度環境白書(本編・資料編)
  - ・平成23年度ダイオキシン類調査結果について
  - ・平成23年度公共用水域および地下水の水質の測定結果および平成25年度計画について
  - ・平成23年度自動車交通騒音常時監視調査結果について
  - ・平成23年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情の概要について
  - ・平成24年度海水浴場の水質調査結果について
- ② データベース更新
  - ・環境関係事業場届出データ(平成23年度末)
  - ・公共用水域水質測定データ(平成23年度分)
  - ・衛生環境研究センター年報-調査研究報告題名(平成23年度分)等

(4) 花粉情報の提供  
① ホームページによる情報提供  
福井市、敦賀市におけるスギ、ヒノキ花粉飛散シーズン中の毎日の飛散量や飛散予報、ならびに花粉症や花粉に関する情報をホームページ上で情報発信した。  
なお、飛散量測定は、福井市分については当センターの所員で構成する花粉情報提供システム推進チームの測定班が行い、敦賀市分については二州健康福祉センター所員の協力を得て行った。  
(「福井県花粉情報ホームページ」：  
<http://web.erc.pref.fukui.jp/>)

② マスメディアによる情報提供  
花粉飛散の状況等について、報道機関(新聞・テレビ)の要望に応じて情報提供した。

(5) 研究センター活動情報の発信  
① 所報・広報誌の編集・発行(所報委員会)  
衛生環境研究センター年報(平成23年度)を発行した(11月)。また、広報誌「循環研だより」(第11号、第12号)を発行した(9月、3月)。  
② センターホームページの運用  
当センターの業務・活動内容について情報発信したほか、所報等の刊行物の内容を掲載した。  
(<http://www.erc.pref.fukui.jp/center/>)

③ 環境研究紹介パネルの作成・展示  
 当センターの環境研究を紹介するパネルを環境部、保健衛生部の協力を得て作成し、試験研究機関フェア（平成24年4月19～21日、10月18～19日）、環境月間行事中のパネル展（県庁県民ホール、期間：平成24年6月4～8日）およびふくい環境フェア（平成24年10月13日）にて展示した。また、当センター内においても常設展示を行った。

(6) 専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営

① 専門雑誌等の受入れ（図書・情報委員会）  
 専門雑誌・行政資料の受付、データベース登録、ならびに図書等の整理・管理を行った。

② 情報システム運営

環境情報総合処理システムや公設試験研究機関科学技術情報ネットワークシステムを適切に運用するため、設備や情報の維持管理を行った。

### 1. 3 衛生および環境に関する教育および学習の推進

(1) 衛生・環境教室等の開催

一般県民や小中学生向けの衛生教室や環境教室等の開催の企画調整を行った。平成24年度の実施状況は表3のとおりであった。

表3 衛生・環境教室等実施状況

年月日	事業	対象者	参加者
H24.5.8	環境教室 (西藤島小学校)	小学5年生	52名
6.2	環境科学体験デー	一般県民	102名
7.30	夏休み衛生・環境教室 <環境教室>	小学生と保護者	27名
7.30	夏休み衛生・環境教室 <衛生教室>	小学生と保護者	29名
10.13	「ふくい環境フェア2012」への出展	一般県民	—
10.25	環境教室 (金津中学校)	中学1年生	28名
10.28、29	職場体験学習 (成和中学校)	中学2年生	5名
11.14	施設見学	一般市民	33名

各教室等の内容は概ね以下のとおりであった。

- ・環境教室  
 大気や水の汚れ、地球温暖化について、電気自動車見学・試乗 など
- ・環境科学体験デー
  - 実験・体験コーナー
    - ア 省エネ効果
    - イ 自転車発電
    - ウ エコカー見学
    - エ みどり号見学
    - オ 身近な植物を使った水や物の性質調査など
    - カ 顕微鏡で水の中の生物調査
    - キ 電子顕微鏡でミクロの世界の観察
    - ク 音の大きさ調べ
    - ケ おいしい水の紹介
  - 研究紹介コーナー
  - 環境クイズラリー

- ・夏休み衛生・環境教室  
 衛生教室：「食中毒菌について調べよう」  
 環境教室：「身近な環境について調べよう」
- ・「ふくい環境フェア2012」出展  
 環境研究パネル展示、地球温暖化展示、水の透視度測定、COD測定（パックテスト）

(2) 環境情報コーナーの運営

当センター内に設置した「環境情報コーナー」において、環境図書、ビデオ、パネルの展示を行うとともに、要望に応じて貸出を行った。

### 1. 4 衛生検査関係者および環境技術者の研修および指導

(1) 技術研修会の開催

当センターが主催した各種研修会（表4）において、連絡調整や当室の業務に関する部分の講師を担当した。

表4 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の開催状況

年月日	研修内容など
H24.5.14	環境担当職員基礎技術研修会 ・センター業務（環境関係）について ・平成24年度の環境保全対策事業について ・環境情報システム〜みどりネットの活用法について ・騒音・振動測定の留意点について ・水質異常時における対応について ・健康福祉センター職員への連絡事項（検体採取時の留意点等） （講師：環境部、管理室ほか 参加者18名）
5.17	食品衛生基礎技術研修会 ・福井県における食中毒の発生状況および食中毒検査の概要 ・食中毒事例における迅速スクリーニング検査の導入に向けて ・ウイルス性食中毒について ・食品収去検査（理化学試験について） ・食中毒菌・ノロウイルス検査および理化学試験について（実技見学） （講師：保健衛生部 参加者9名）
11.9	感染症基礎研修会 ・感染症動向調査「麻疹・インフルエンザ」 ・ウイルス性胃腸炎感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症発生状況 ・細菌・ウイルス検査（実地見学） （講師：保健衛生部 参加者15名）
H25.3.8	衛生環境研究センター研修会 ・講演：「分析して見えてくる環境質」…緊急時における機器分析の活用… （講師：北九州市環境科学研究所 岩村 幸美氏） ・報告：「未知試料の分析と留意事項」…海岸漂着物の分析事例… （報告者：環境部 田中主任研究員） （調整：環境部 参加者 39名）

- (2) 研修生、見学者の受入れ  
 研修生等の受入れの連絡調整や当室の業務に関する部分の講師を担当した。
- ① 福井大学医学部環境保健学実習生
- ・ 学生数 4年生10名  
 (保健衛生分野5名、環境保全分野5名)
  - ・ 期日 平成24年5月11日～6月22日の金曜日  
 (計7日間)
  - ・ 内容  
 保健衛生分野：病原微生物、食品衛生、健康長寿などに関する講義と実習  
 環境保全分野：大気汚染、水質環境、常時監視などに関する講義と実習
- ② インターンシップ研修生  
 学生が在学中に就業体験をするインターンシップ制度(福井県インターンシップ推進協議会 事務局：福井県経営者協会)に協力し、学生を受け入れた。
- ・ 学生数 4名
  - ・ 期日 平成24年9月3～7日 (5日間)
  - ・ 内容  
 当センターにおける保健衛生・環境保全対策業務について
- (3) 所内研究発表会の開催  
 職員研修の一環として開催した(期日：平成25年3月15日)。発表演題は、「IV発表抄録 目次」に記載した。

## 1. 5 調査研究

平成24年度は、次の4課題の調査研究を実施した(当室職員が主担当となって実施したもの)。

- ① 大気中微小粒子状物質(PM2.5)の実態解明に関する調査研究  
 (研究期間：平成22～25年度)(環境部と連携)
- ② 県内スギ・ヒノキ花粉の飛散予測および情報提供に関する研究  
 (研究期間：平成24～25年度)(保健衛生部、環境部と連携)
- ③ PM2.5と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究(国立環境研究所II型共同研究)  
 (研究期間：平成22～24年度)(環境部と連携)
- ④ 福井県における飛来物質の実態に関する研究(福井大学との共同研究)  
 (研究期間：平成24～25年度)(環境部と連携)